

新社会

つくば

発行：新社会つくば

TEL 029-857-1154 FAX857-1254

金子 かずお気付

kaneko@max.hi-ho.ne.jp

<http://kanekokazuo.hakurakuryo.org/>

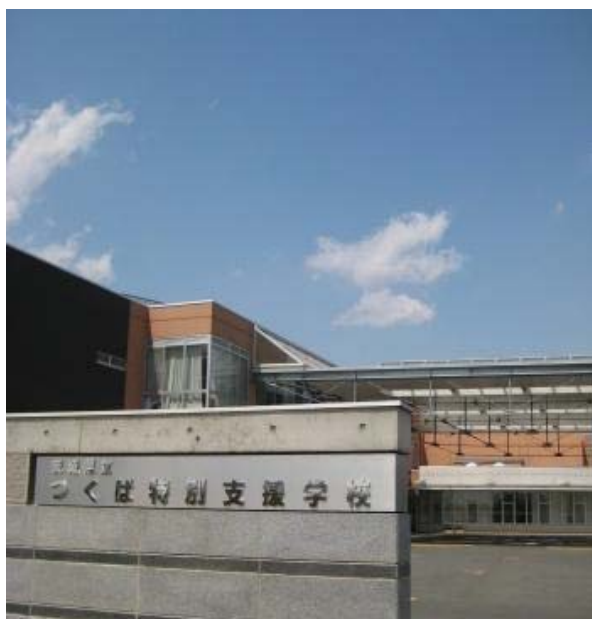
2018年 1月23日 第1059号



議会質問・一般質問から

新社会つくば版は議会活動や市政の報告、地域との係わりなどを中心に報告していきます。

議会の一般質問は質問・答弁を全文掲載していますので、質問者の意図を把握した答弁になっているかなど皆さんの判断でお読みください。



つくば特別支援学校の過密状況の解消についての取り組みは②

移動する児童数と地域を知らせて

質問・金子かずお議員

平成31年に、石岡地区内に開校する八郷南中学校を改築した学校ということで新しくスタートするわけでありませうけれども、そちらに移動する児童数と地域とを教えてくださいたいと思います。

現在の在籍数から割り出しますと65名

答弁・門脇教育長

旧八郷南中学校の跡地に新設中の特別支援学校の内容でありますけれども、知的障害特別支援学校となります。

このつくば特別支援学校から移動する地域というのは、つくば市の中では旧筑波町でありまして、この地域に該当する児童生徒数は、現在の在籍数から割り出しますと65名となっております。

実際に移動するかどうかについては、先ほどと同じように個別の事情に対応する必要があるということ、今のところ確定はしておりません。

新入生の動向は把握しているのか

質問・金子かずお議員

そうすると、まだ、全体的に決まらない部分があるからわかりませんが、新入生というのは、まだ、そうすると数的は出てきていないという理解でよろしいのでしょうか。

石岡市・小美玉市、旧筑波町区域で約200人

答弁・門脇教育長

これも想定ですけれども、石岡市及び小美玉市及びつくば市の旧筑波町、通学区域ということになりますので、今のところ児童生徒数は約200人というふうに想定しております。

石岡地区内に開校はA部門ですね

質問・金子かずお議員

そうすると、200人の新入生ですけれども、まだ、詳細については決まっていないからということで理解してよろ

しいですね、どうもありがとうございました。細かくお聞きしました。

そこで、お尋ねをしたいのですが、A部門、B部門で知的と肢体不自由ということで分かれておりますけれども、そういう形で、つくば特別支援学校はA部門、B部門を同じ学校の中で教育していました。周辺の土浦、伊奈あるいは美浦などについては、肢体不自由の子供たち、基本的には、ではなく、知的の子供たちという形になっているわけでありましてけれども（「A部門だけね」と呼ぶ者あり）、A部門だけということね。そういうことでもありますけれども、それは守られていくわけでしょうか。

A部門の児童生徒です

答弁・門脇教育長

先ほど申し上げたとおり知的障害部門のみ、新しい石岡の学校は、そういうような形の内容の学校になります。県からの分断方式の説明はいつ頃に

質問・金子かずお議員

そうすると、学区が固定されてきているわけですから、当然子供たちの行くところが決まってくるという形になるわけですが、私が聞きたいのは、先ほども話をしましたけれども、2007年に特別支援学校、当時は養護学校と言っていましたけれども、特別支援学校が開校して、それで子供たちがどんどんふえてきて、教室も変わってくる。そういう状況で2015年に第2次の計画を立てた。そのころは、このつくば市内の中で、いろいろと父兄の皆さん、あるいはこの議会の中でも、特別支援学級の子供たちの増加ということが語られるようになって、いろいろ議論も深まっていく前段のころだったと思うのですよね。

そういう状況の中で、県からこの分

割という、私から見ればつくば市の中が分割されるわけですね。そういう状況を、例えば、当該の教育委員会として説明があったと思うのですよね。そういう状況のことについて教えていただきたいと思います。

県からは2回ほど説明が、希望は述べず

答弁・門脇教育長

確かに、平成27年7月と平成28年7月の2回、県のほうから新しい整備計画についての説明があったようでございますけれども、県としての、県立学校としての整備計画であるため、市として意見を述べるというようなことはできずに、また、つくば市に対して、つくば市のほうから市の現状を聞きたいというような申し出もなかったようでございまして、県に対して市としての希望を申し述べる機会はなかったというふうに理解しております。市として意見を述べることは無く

質問・金子かずお議員

どうしてなかったのでしょうか。事情はわかりかねるので後ほどに

答弁・門脇教育長

就任して半年の教育長としては、その事情はわかりかねますので、後で確かめてお答えしたいと思います。

つくば市賀詞交歓会が開かる

つくば市新春賀詞交歓会が12日に市内で開催されました。当日は約600名が出席され、市内の研究機関や大学、事業所、各種の団体などの代表が意見交換された。

新春賀詞交歓会実行委員長の五十嵐立青市長が主催者代表の挨拶を行い来賓の国会議員が新春の挨拶を行った。